

発行 社会福祉法人陽風園 金沢市三口新町1丁目8番1号 ☎ (076) 263-7101



古田理事長から百歳の
記念品を受ける横山いくみさん



就任ご挨拶

理事長 古田 秀一

この四月から社会福祉法人陽風園の理事長に就任いたしました。もとより、人格、識見とも前任の理事長奥清先生とは比べようがなく遠く及ばない者であり、その任に非ずとは思いましたが奥先生からのお話であり、誠に非力ながらこの重責を担うこととなりました。

先ず、園祖小野太三郎翁の墓前に手を合わせ、愚鈍で至らぬ者ではありますが、仁愛の精神に則り、奉仕の誠を捧げ、真面目に一生懸命この仕事に励んでいくことをお誓いし、陽風園での生活を始めました。どうぞ、皆様方のご指導、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

現在、園の最重要課題は三口新町の本園施設の改築であります。事は将来にわたる園の事業運営に大きく関わることであり、成すこと決して容易なことではありませんが、今は亡き先々代理理事長の安田隆明先生が、幸せを求め、福祉社会に対応するために課せられた義務であり、如何なる困難があろうとも成し遂げなければならぬと遺言し、奥前理事長がしっかりとその諸準備を進めてこられた事業であります。先ず、今年度から向陽苑木曳野の建設工事に着手いたしますが、この園改築事業の推進に万全を期して参ります。

福祉の何たるかも知らない私ではありますが、幸いにも、翁の遺志を受け継ぎ、これまで先輩諸氏が連綿と培ってきた福祉の理想があり、これに基づき、園で働く者の指針として「私たちの信条」が掲げられています。

陽風一家の新たな一員として責任と誇りを持ち、皆と心を一つにして、この信条を日々忠実に実践して参ります。

就任にあたって

陽風園にきました

陽風園診療所長

河合 昂 三



桜の花の季節が
終わり、周囲の小
立野台地や野田山
に緑が映えています。
花の色や、緑の色

は目にも、心にも優しいさと落ち着
きを与えてくれます。この場所に
松任の地（白山市）から、四月に
移ってきた陽風園診療所の河合で
す。内科医師になって四十年余で
すが、長年いわゆる総合病院（急
性期）で診療してきました。松任
の病院も急性期の病院で、入れ替
わりが激しい病院でしたが、そこ
でも高齢化社会は避けられず、周
囲の福祉施設、療養型病床の後方
病院・協力病院として高齢者の救
急診療を行っています。

自分が五十歳代の時は、六十歳
台の人は高齢にみえ、自分が六十
歳を過ぎると七十歳前は「まだ若
いね」となり、七十歳に近づくと
七十歳台はまだだと感じるよう
になりました。病院でも八十、九
十歳の入院も増えており、当園の
入所者年齢に近づいており、こち
らに移っても違和感無く接してい
ます。

東日本大震災

災害派遣活動に

参加して

向陽苑

大崎 善 則

平成二十三年三月十一日、午後
二時四十六分、宮城県沖を震源と
するマグニチュード九・〇の巨大
地震が発生。生まれ育った宮城県
を離れ三年半、報道される目を覆
いたくなるような光景に、言葉に
できないほど苦しく、胸が痛みま
した。

そんな時に、多くの職員の方々
より、家族の安否を心配して下さ
る声や気遣いの声を掛けて頂いた
ことが、心の大きな支えとなり、
私の気持ちも、「今、自分には何
ができるのか？」という自問を繰
り返す日々から、「被災地に入り
たい！何かの役に立ちたい！」と
いう自答に至りました。そんな折
「東日本大震災における介護職員
等災害派遣」の要請があったとの
事務連絡を受け、
志望し、四月十
四日～二十一日
の間、指定避難
所である宮城県
石巻市の小学校
で災害派遣活動
に従事させて頂
きました。移動
日の初日から、



見慣れた街の変
わり果てた光景
に、幾度も心が
折れそうになり
ましたが、同行
の岡野リーダー
が常に励まし、
支えてください
ました。災害派
遣の実活動日数
は五日間という限られた時間の
中、避難所で生活されている方々
とのコミュニケーションを大切に
持つように心がけました。避難所
で生活されている方々は、震災で
身内の方を亡くしたり、自宅が津
波の被害で流されたり、という方
が多く、心に深い傷を負っていま
す。しかし、日々を明るく、優し
く、支え合い、譲り合いながら生
活を送っていました。私達はこの
方々のために、「出来ることは何
でもしたい！」という思いを抱き、
生活全般の支援として、避難所内
の清掃や片付け、物資の運搬や感
染症の予防対策として、日頃の業
務で身に付けた知識を活かした各
所の消毒等、様々な活動を行いま
した。活動を通して、今後、長期
化していく避難所での生活におけ
る全般的な支援の担い手として、
継続的な支援活動が必要だと感じ
ました。

おわりに、この度の東日本大震
災で被災された方々にお見舞いを
申し上げるとともに、今回、災害
派遣活動という貴重な体験をさせ
て頂いたことに感謝致します。



東日本大震災 災害派遣活動に

参加して

第二万陽苑

岡野純一



四月十四日
早朝、岡野、大崎の両名は金沢を出発。新潟県より福島県の郡山市へ入った頃より高速道路の路面に地震の影響の凹凸が現れ、車の速度を落とすと同時に今まで無かった緊張感が伝わってきました。現地では目を覆いたくなる風景の連続で至る所に潰れた車、がれきが散乱していました。

我々の派遣先である宮城県石巻市立釜小学校では、体育館や図書室等の教室を使用し、約一五〇名の方々が避難されておりました。これは後で聞いた話ですが、三月十一日の震災当日、津波警報発令後、児童の中・高学年は、いち早く校舎の上階に行き、難を逃れほとんどの無事が確認されましたが、地震の前に下校した何人かの低学年の児童が被害に遭うという悲しい話でした。

避難されている方々の団結力は

非常に高いものでした。避難所では十五名程で班分けされ各班長を選出し、行政からの伝達や、住民の方々からの要望事項に尽力されておりました。

ここでの活動は常駐する市職員、各班長、看護師、ボランティアによる朝の会議を行い、今日の予定や要望を確認した後、住民の方々の心のケア、物資の搬入、居住ブリスの修繕、炊き出し手伝い、仮設トイレ等の消毒、避難されている方の家屋の片づけ、避難所で大量に出るゴミの集積等々、多種多様でした。中でも我々は、ほとんど行われていなかった仮設トイレ、手すり等の消毒作業を重点的に行いました。活動の初日など戸惑う事もありましたが、五日目の最終日は、知り合う事の出来た方々との別れる辛さ、只々、住民の方々のご無事を祈る事だけでした。復興までの道のりは、まだまだ先ですが、今後も何らかの形でボランティア活動に参加したい、と強く思い帰路に着きました。

『がんばっちゃ石巻！』



4月21日 活動報告



施設だより

向陽苑

「料理教室」で学んだこと:

向陽苑では、定期的に料理教室を行っています。料理教室とは、栄養士が中心となり、利用者の皆さんがおやつを作り食べるものです。

今回の「大学ポテト」作りでは、予想以上にたくさんの方々が参加されました。皆さんエプロンをされ、手際の良い包丁裁きには圧倒されました。普段見ることができない活き活きとした表情をされており、長年家事をされていた様子が伺われました。

大学ポテト作りの合い間に、料理について色々と教えて頂きました。例えば、大根や人参に捨てるところは無い。大根や人参の皮は、捨てずに千切りにしてきんぴらにする。葉は、お浸しにしたり味噌汁に入れたりする。当たり前のように捨てるどころの方が美味しく栄養がある。今の人は、物を粗末にするので困ってしまう。また、昔は電子レン



ジャオオーブンなどがなく、料理をするにも手間や時間がかかったもの。今は、野菜などカットされたものがあり、そのまま調理できるようになっていても作らない人が多い。スーパーのお惣菜コーナーで買い物をすませ、お皿に盛り付け手間暇かけて作り出したばかりに食卓へ：あらっ！それって私のことかしら…。

まだまだ、書きつくせないほど教えて頂きました。核家族が進み、お年寄りから教えてもらえる機会を失っていることがとても残念に思えます。

そんな話をしながら作った「大学ポテト」を頂きましたが、今まで食べたことがない格別なものに感じられました。また、大勢で食べるのが美味しさを増すことに繋がるのだとも思いました。

料理教室を通し、色々ご指導いただいたことを参考に、手間暇かけた愛情のこもった料理を作り、また自分の子どもたちにも伝えて行きたいと思います。



施設だより

三陽ホーム

地域清掃ボランティア

三陽ホームでは、利用者に自主的な参加を呼びかけ、毎月、地域清掃ボランティアを行っています。実施内容は、本園近隣のゴミ拾いで、四月は十三名の利用者と共に、本園の周りや花里公園周辺のゴミ拾いを行いました。

三陽ホームの利用者の平均年齢は七十歳を越えており、年齢的な問題や、身体的な問題で参加したいという気持ちはあるのに、参加できないという方もいます。入所者全員が参加し、実施するということは難しく、毎回十人程度の利用者と共に行っています。

今回の地域清掃ボランティアは、天候が良く、気温もちょうどよかつたこともあってか、参加していた



利用者同士の会話が自然と弾み、とても良い雰囲気の中で実施することができました。普段は何気

なく歩いている道ですが、ゴミを探しながら歩くと、多くのゴミが落ちていてここに気が付きます。ゴミの



種類も様々で、お菓子の空き袋やタバコの吸い殻が多く利用者からは、「マナーが悪い人もおるなあ」という声が聞かれました。

参加していた利用者は、一生懸命にゴミを探し、隅々の細かいゴミも見逃さずに取り組んでいました。また、実施した日は、ちょうど桜の花が散っている時で、道に落ちていた花びらを拾おうとしている利用者もいました。利用者のきれいにしようという気持ちの表れだと感じました。

天候が悪く実施できない月もありますが、自分達が生活している地域をきれいにすると共に、少しでも社会に貢献できるように今後も、地域清掃ボランティアを継続していくことが出来ればよいと思っています。

木越デイサービスセンター

新しきをたずねて

「来週の花見ドライブの天気は、どうかねえ」「私パーマかけて来んなん」等と、四月の第一週に予定された花見ドライブを待ち望み、何となく浮き立つ雰囲気の日です。ビスセンターのフロアー。しかし今年の寒さが影響してか桜の蕾は固く、一週間延期しての実施となりました。ドライブは二コース。一つは、河北潟・内灘町庁舎周辺、小濱神社の桜観賞と町役場展望室での喫茶。二つ目は、兼六園一周の桜観賞としいのき迎賓館での喫茶です。



一コースの一班は、肌寒く、時折の雨、見所の河北潟周辺の桜並木の蕾は堅く残念。花より団子ならぬ、町役場展望室でホットコーヒーとケーキ、そして眺望を堪能。「晴れた日もいいけど、

こんな日もオツなもんや」と言ってお頂き、優しさに企画者大感激。二班は、快晴。場所によっては、開花が見られる箇所もあり参加者一同記念写真を。一つ目のコースは、二班ともに快晴。満開の桜を車内から眺め、「うわあ、綺麗やね」との歓声。充分に花見を満喫し、車はリニューアルされた旧県庁舎の面影を残し、金沢城公園側は、ガラス張りで新緑が映え、市民や観光客の憩いの場として新しい文化の創造を感じさせる趣に。「県庁なんて滅多に来る機会はないけれど、こんなにハイカラになったんやねえ」と一階のカフェテラスでケーキセットを味わいながら、各自思いを馳せ、昔の良さを残しながらの街づくりに、ことさら会話が弾んだドライブとなったようです。帰途の車中では「なかなか遠出が出来ないから、今日はありがとう」「今度は何処へ行けるかね」等という言葉に、想い出づくりのお手伝いが出来て良かったと思っています。

陽 風 園 日 誌

● 2 月

節分祭
交通安全全チョコつとアドバイス
誕生会・喫茶
ゲーム大会
マッサージ
出前お話し会
石川県知的障害者福祉協会
ボウリング大会
未就園児とお父さんのあそぼう会
金大マンドリンサークル訪問
卓上献立
保育参観
家族介護者教室
生き生き健康支援
ビデオ上映会
菊川・つつじが丘・内川・崎浦
大桑団地・十一屋健康づくり教室
作業収益還元旅行
ごっこあそび
入園説明会

● 3 月

理事会・評議員会
献血
赤トンボグループボランテニア
歌のあそび会ボランテニア
誕生会・ひな祭り喫茶
シヨッピンゲ
ビデオ上映会
マッサージ
ゲーム大会
石川県福祉施設卓球大会
菊川・つつじが丘・内川
大桑団地・十一屋健康づくり教室
二水高校吹奏楽部来訪
金沢大学児童文化部
人形劇サークル訪問
作業収益還元旅行
各作業班作業懇談会
茶話会
生活給食懇談会
追い出し餅つき
ひなたぼっこ
保育参観
お別れ会・卒園式
進級式

● 4 月

職員辞令交付
初任職員研修会
物故者追悼法要
石川県議会議員選挙不在者投票
金沢市議会議員不在者投票
誕生会
花見・花見喫茶・花見ドライブ
マッサージ
シヨッピンゲ
家族介護者教室
菊川・つつじが丘・内川・崎浦
大桑団地健康づくり教室
泉野連絡会
竹の子祭り
地域清掃ボランテニア
入園式
保護者総会
子どもの日の集い

入園者の変動状況 (2月~4月)

施設名	入園者数 (5月1日現在)	入 所	退 所
向 陽 苑	237	5	7
万 陽 苑	179	27	31
第二万陽苑	149	23	27
第三万陽苑	148	12	10
三陽ホーム	100	0	4
ハビリポート若葉	200	2	4
あけぼの作業所	42	2	1
みずき保育園	167	35	53
診 療 所	0	1	3
合 計	1,222	107	140

在宅サービス利用状況 (2月~4月)

施設名	事 業	延人数
万 陽 苑	シ ョ ー ト ス テ イ	486
	デ イ サ ー ビ ス	966
	ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス	306
	配 食 サ ー ビ ス	331
第二万陽苑	シ ョ ー ト ス テ イ	587
	ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス	264
第三万陽苑	シ ョ ー ト ス テ イ	1,163
	デ イ サ ー ビ ス	652
ハビリポート若葉	シ ョ ー ト ス テ イ	28
	日 中 一 時 支 援	4
	グ ル ー プ ホ ー ム 知 的 障 害 者 共 同 生 活 援 助 事 業	1,270
在宅事業推進局	陽 風 園 生 活 支 援 セ ン タ ー	893
	お年寄り地域福祉支援センター	1,269
	センターみつくちしんまち	594
	木越デイサービスセンター	851
	木越生活支援センター	112

感謝録

2月～4月

(順不同・敬称略)

ボランティア

- 金大マンドリンサークル (金沢市)
- 末日聖徒イエスキリスト教会 (金沢市)
- PL金沢南教会 (金沢市)
- ひだまりグループ (金沢市)
- カトレアの会 (金沢市)
- 小西さんグループ (白山市)
- ひまはりの会 (金沢市)
- 新畑ミュージック企画 (金沢市)
- 歌のあすなる会 (金沢市)
- 赤トンボグループ (金沢市)
- 石川県立金沢二水高等学校吹奏楽部 (金沢市)
- イーストアンドウエスト (金沢市)
- 葉月の会 (金沢市)
- 合歓の会 (金沢市)
- 泉野図書館 (金沢市)

寄附物品の部

- 勝尾外美子 (金沢市)
- 尾崎 和雄 (金沢市)
- 安岡 龍男 (金沢市)
- 高窪千寿子 (金沢市)
- 村尾 和子 (金沢市)
- あけぼの作業所家族会 (金沢市)
- 西尾 桂子 (金沢市)
- 西出 義雄 (加賀市)
- 小西 和子 (金沢市)
- 安田 貴幸 (金沢市)
- 石垣 イト (金沢市)
- 小酒 平治 (羽咋郡)
- 浅田
- (有)多賀商店 (金沢市)
- 金沢中女性ドライバーの会 (金沢市)
- 田中外美子 (白山市)
- 沖 敏夫 (金沢市)
- 小林 英幸 (金沢市)
- 岡音 松男 (金沢市)

寄附金の部

- シオタニ(株) (金沢市)
- 崎浦ボランティアの会 (金沢市)

その他匿名 二十三名

ご厚意ありがとうございました。

